

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E112J018		工芸 (Potter's Craft I)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用		月2	日本語		単独						
担当教員	氏名 村上 佑介 E-mail y-murakami@oita-u.ac.jp 内線 7594													
授業の概要	工芸における基礎的な表現方法の習得を目指し、制作を通して工芸の意義や魅力を理解する。あわせて工芸教育指導のための基礎的技能を養う。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 陶土を用いて実用的な作品を作ることができる。								○		○				
目標2 陶芸や染めの道具を適切かつ安全に使用することができる。								○		○				
目標3 工芸指導の基本的な知識と技術を習得し、それを基に作品について説明することができる。								○	○					
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								5	2	3				
授業の内容														
1 「ガイダンスおよび工芸について」：工芸の種類、様々な素材と技法														
2 「陶芸」：制作工程と土づくり														
3 「陶芸」：玉作り成形による湯呑みづくり（形と絵付けの検討）														
4 「陶芸」：玉作り成形による湯呑みづくり（成形）														
5 「陶芸」：玉作り成形による湯呑みづくり（削り）														
6 「陶芸」：紐作り成形による茶碗づくり（形と絵付けの検討）														
7 「陶芸」：紐作り成形による茶碗づくり（成形）														
8 「陶芸」：紐作り成形による茶碗づくり（削り）														
9 「陶芸」：焼成（素焼き）、陶芸作家について														
10 「陶芸」：絵付け（湯呑み）														
11 「陶芸」：絵付け（茶碗）														
12 「陶芸」：施釉（湯呑み）														
13 「陶芸」：施釉（茶碗）														
14 「陶芸」：焼成（本焼き）、陶芸作家について														
15 総括：窯出し、作品の講評とレポート														
ラーニング目標	A:知識の定着・確認		○		制作中に各個人作品の指導の中で、確認、意見交換を行う。				工 夫 の 他 の		なし。			
	B:意見の表現・交換		○		総括・講評会・レポートにより行う。									
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造		○											
授業時間外学修と想定時間	準備学修		指示するテーマについて、図書館もしくはインターネットによって予備知識の取得に努める（5h）。											
	事後学修		授業で学習した素材や、技法について復習し、自身の作品制作に活用する（10h）。											
	想定時間合計		15											
教科書	教科書は使用しない。 適宜資料を配布する。													
参考書	・東京国立近代美術館工芸課『工芸の見かた・感じかた』, 2010, ISBN978-4-473-03656-8 ・文部科学省『中学校学習指導要領解説 美術編』（平成29年告示）, ISBN978-4-536-59013-6 ・文部科学省『高等学校学習指導要領解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編』（平成30年7月）, ISBN978-4-877-30420-1													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	完成作品の提出	70%	○	○								
	課題レポート	30%			○							
注意事項	実習では、汚れても良い服装・靴を用意すること。 作陶道具はこちらで用意するが、消耗品代（陶土代など）が必要。詳しくはオリエンテーションの際に提示する。											
備考	なし。											
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	特別支援学校教諭（美術）、高等学校教諭（美術）											
教員以外の 指導に関わる 実務経験者	なし											
実務経験を いかした教育内容	中学校および高等学校の立体造形指導に必要な知識と技能を習得する。											